

朝鮮最近の面影

全國師範學校長會同席上に於ける

宇垣總督の講演要旨

(昭和八年九月二十九日  
於京城師範學校)



閣下竝に各位、茲に遠來の珍客多數御集ひの席上に罷出でて其の壯容に接し且聊か鄙見を開陳して清聽を煩はすの機會を得ました事は、私の最も光榮とし本懷至極に存ずる處であります。

各位御承知の通り私は元々一介の武辨であります。従つて軍隊の前に立ち従號令を掛ける術は一通り心得て居りますけれども、演壇上に立ち多數の各位を前に控へて御話を申上げるなどの事は誠に不得手であり、今日迄勉めて夫れを避けて來たのであります。今度の御催しは外ならぬ全國教育界の權威者、而かも國民教育の中樞に立ち國家盛衰の關鍵を握つて居らるる各位の御集りのことでもありますから、話の上手下手などは論ずる限りでもなく、進んで朝鮮の實狀並に朝鮮統治に關する卑見を親しく申述べて御耳に達し、最近に於ける朝鮮の正しき姿と、現に動きつつある空氣と、其の包藏せる力とを認識し理解し

て戴くことは私の當然の義務であると考へましたに依り、臆面もなく此の壇上に立ち暫く清聽を煩はすことに致したる次第であります。

元來私は前の軍職の關係即ち國防研究上の必要からして過去二、三十年に亙り相當深刻に朝鮮を研究し、精細に半島を調査致して参りました一人であります。従つて朝鮮半島の實狀を理解して居る點に於ては多く人後に落ちぬと自信して居たものであります。其の私の腦裡に畫かれてあつた朝鮮の姿は、精神的には獨立とか民族自決乃至は共產主義等の各種穩やかならざる思想が瀰漫し、之れに加ふるに過去數百年に亙る秕政の結果として民心は荒み切り、民衆は感激性に乏しく犠牲奉仕の念に缺け努力勤儉の意氣は消磨し居りて實に面倒至極の趨向に在り、又物質的には山野は荒れ、地味は瘦せ、資本、資源に缺乏して經濟的に延び行く實力の乏しい、前途に望の薄い、而かも尙年々補

助金千數百萬圓、夫れに國防費や外交上等に要する經費などは今日迄朝鮮民衆は負擔して居らぬけれども、此等までも分擔せしむるものとして計算すれば母國に歲々數千萬圓の厄介を掛けて居る様の次第である。併合二十餘年後の現在に於て尙斯の如き状態でありますから物質的方面に於ても頗る芳はしくない。所謂半島は物心兩方面共今後尙母國に面倒を掛け大に御世話にならねば動きの取れぬ土地柄であると、斯様に朝鮮の姿と動きと力とを認めて居たものであります。

然るに一昨年夏就任後何とか致して速に母國の手足纏ひにならぬ様、否進んで母國の進運に貢獻し發展に寄與し得る様に致して君國の依托に副はねばならぬと考へつつ半島に臨みましたが、親しく民衆に接し風物に觸れて仔細に朝鮮の再検討を致して見ました處が、今日迄の私の朝鮮の物心兩方面に對する研究が尙淺薄であり、認識も不十分

であり現状に即して居らぬことを自覺致したのであります。詳言すれば朝鮮其の者は物心兩方面共に私の就任前迄考へ來り、豫想して參りました様に、即ち先刻來申述へました如く貧弱であり厄介至極のものではない、導くに道を以てし施すに術を以てすれば、大いに前途に望みある、頼母しい民衆であり又十分なる價值ある土地柄であると言ふ事を發見致したのであります。

勿論李朝の中葉以降秕政連續、爲に日韓併合の當時迄は民心極度に荒怠し山野は見るも哀れなる程度にまで荒廢して居たのであります。朝鮮には百有餘年來「産を興すは家を滅ぼすの基なり」との意味の言葉が存在し、民心は現實に其の氣持の支配を受けて居たのであります。財産が出來て小綺麗な家にも住まへば、直に贈賄買官に依りて任命を受けた貪官汚吏の爲に壓抑せられ搾取せられ、下手をすると獄窓裡の

露とさへ消へなくてはならない徒が比々として出來たのであります。爲に被支配階級たる多數民衆の感激健闘の意氣は消磨し、勤勉節約貯蓄等の氣分は喪失して向上發展を求むる希望もなければ氣持もなく、全く其の日暮して陋屋の内に醉生夢死するを以て我慢し來つたのである。斯の如き状態が可なり長い間連續しましたから何時とはなしに全然習慣性、一の國民性をなして併合以後最近に至る迄も其の弊習が依然として繼續し來つたのであります。然るに日韓併合以後に於ては搾取と壓迫とによりて一族郎黨の榮華と贅澤に耽つて居た支配階級の中には、全然自己の立場を失ひて痛く不平不満を感じて居る者もあり、夫れに加ふるに民衆中の頑迷朦朧の徒とか、偏見に捉はれて居る連中共が、彼等の提唱に附和雷同して抗日、排日の態度を採り反抗を試みんとして居る處へ、世界大戰の中期以降に於ける民族主義高潮の氣運に



煽られて、獨立とか民族自決とかの思想が急遽に蔓延し、其の高潮に達したのが丁度大正八年の萬歲騷擾の勃發でありました。乍併半島に於ける帝國の權威も立場も依然として罕乎として微動だもせず、彼等は結局屏息せざるを得ざる羽目に立ち至り、爲に彼等の中には接壤隣邦に走り其處を根據として策謀を繼續する者もあり、或は自暴自棄的氣分となりかけた者も生じたのであります。其の隙間に巧に附け込み夫れを利用して侵入し來つたものが即ち共產思想であります。私の就任前及其の直後に於ては勿論半島の一部ではありましたが、けれども相當深刻に喰込み居り、取り分け咸鏡道地方では其の運動が各所で事實化して不祥事件を勃發した事もあります。然るに私は此等の暴戾分子に對しては寸毫も假藉することなく彈壓を加へますと共に他面教化、撫育にも格段に力を用ひ來つたのである。其の結果として彼等

も漸次覺醒して思想の轉向を來しつつあり、次第に穩健着實の動向を辿りつつある處であります。

勿論反日態度を有する手合は半島民衆の一部でありまして他の純眞なる最大多數は官民一致の多年の啓導努力によりて次第に世界の大勢、時代の推移に眼醒めつつありし處へ、一昨年秋滿洲事變勃發後に於ける帝國の内外に對する施設に大なる刺戟を受け、又昨春以來全鮮總動員を以て開始したる精神作興、自力更生等の諸運動の普及徹底に伴ひまして、物心兩方面に互り著しき變化好調を呈しつつある處である。従來朝鮮人に頗る缺乏して居ると認められて居た感激性とか犠牲奉仕、勤勞好愛とか、節約貯蓄とか申す美德特性が最近に至りて着々として發揮せられつつある有様であります。滿洲磐石縣城に於ける谷村計介氏に彷彿たる三勇士の勇敢なる行動とか、通過軍隊の送迎の熱

烈振りとか、癩豫防協會設立の際に於ける寄附金か當事者豫期の數倍  
 以上に達したる有様、其の他國防、教育等諸種の施設に對する寄進、  
 獻金等の盛なる状態に照して見ましても感恩報謝、犠牲奉仕等の諸美  
 徳が、朝鮮にては未だ嘗て見ざる程度に將に發揚されつつあるを認め  
 得るのであります。將又古來よりの懶惰性が漸次に矯正されて今や内  
 地人も三舍を避けざるを得ざるが如き勤勉振りが至る所に示されて居  
 ります。殊に過去に於て全く其の影を認め得ざりし婦人の屋外勞作も  
 翕然として實現され、其の中には相當高い教養のある婦人達が率先し  
 て屋外勞作にまで進出しつつあるの態度は誠に涙ぐましき、又頼母し  
 き姿であります。夫れに伴ひ永年に互り炊事と洗濯を以て畢生の仕事  
 となし來つた觀ある半島女性の社會的地位は、漸次に解放せられ向上  
 しつつある處である。斯の如き民衆覺醒の結果として節約の氣運も生

ずれば又夫れが貯蓄としても現はれて居る。現に郵便、銀行、金融組合等に於ける貯金等も増加する一方にて、昨秋郵便貯金利下げの影響は内地では相當大袈裟に減少の傾向を示しましたけれども、朝鮮では依然として増加の傾向を繼續して居るのであります。

其の他私共地方を巡視致します際に、昨年の春頃迄は餘り眼に觸れなかつた家屋の新建築が、昨年秋頃から各所田舎の部落内に散見するに至りましたのであります。其の原因としては地方の金廻りが良くなつた事も無論一つの動機たるには相違ありませんが、主たる原因として地方識者連の申す處に依りますと、従來地方の風習として長男は跡目を相續する爲に兎に角田舎に足を止めますけれども、次男三男等の若者は多く都會生活を憧憬して地方に落ち付く事を嫌つて居た者が、最近に至りまして人間の最も堅實なる仕事は農であり、人生最大

の幸福は農業に依りて求め得るとの農民としての天職、農事に對する理解が出來て、今や喜んで田舎の天地に落付いて安心立命を求むる輩が増加し來り、爲に次男三男等も其の地方に分家して足を止むる様になりました結果として、多くの新家屋の建設を田舎に於て見るに至つたのであるとの申分であり、實に喜ばしき、祝すべき現象であると認めて居る。其の他國體觀念を明徹にし固陋の因襲を打破する意味に於て國旗の掲揚、色服の採用、斷髮の實行、虚禮の廢止、村落の美化等も昨年來著しく外觀上好變化を示して居る處であります。

以上は精神方面に於ける變遷と其の好き調子に動きつつある、ほんの一端を申述べたに過ぎませぬが、大體に於て朝鮮の思想界は穩健着實の好針路を辿り母國と共存共榮、祖國と榮辱を俱にせんとする精神の充實と、自力更生の意氣の漸次に發揚せられつつあり、と御承知を

願ひ置きて宜しいと信じて居ります。

無形方面に關する御話は此の邊に止め置きまして、更に物質方面の事柄を聊か御耳に達したいと思ひます。而して其の前提として最初に御考を御願ひ致して置きたい事は、釜山より京城を経て安東に至る半島の縦貫鐵道に乗車せられ、其の車窓よりの瞥見より得られたる直覺を以て半島全體を想像し判斷なさる様の事のなからんことを望む點であります。度々朝鮮に御出になり各地を御巡視になりました方々には全く蛇足の申分でありませんが、多數視察者の内には縦貫汽車中の瞥見によりて半島の經濟的、産業的價値を云爲せらるる方々も相當にありまして時に誤解が世間に傳へられて居る事も少なくないのであります。抑此の縦貫鐵道の京城以南釜山に至る線路は日清戦争が開始してから、主として軍用の目的に供する爲に大急ぎで架設せられたのであ

ります。従て工事の完成を急ぎ、架設の容易な所を選びて作り上げたもので、左して經濟上の利害を考慮して線路が選定せられたのではありませぬ。従て其の通過地方は何れかと申せば經濟的價値の乏しい土地柄が多いのであります。又京城以北安東に至るの鐵道は矢張り日露戰爭が始まりましたから、是亦主として軍事の目的で、而かも軍人の手により急いで架設せられたので前者同様に經濟的の事は深く眼中に置かれずに線路が選定せられて居るのであります。従て此の縦貫鐵道によりてのみ視察せられた方々の頭には、朝鮮人口の約八割は農民である所謂朝鮮は農業國であるとは申せ、其の農耕地とても大したものもなく、山岳は樹木鬱蒼たる内地の夫れに比すれば慘目な状態であり、民衆は茅屋に住ひ、物質上甚しく恵まれて居らぬ、貧窶の土地柄であると斯く感ぜらるる向が多いのであります。然るに農業朝鮮としての

眞の實のある、價值のある所は、此の汽車中より眼界の及ばざる他の地方に存在するのであります。

一二の例を舉げて御話申上ぐれば、大田驛より分岐南下して木浦、群山、麗水の諸港に至りまする湖南鐵道の沿線地方は朝鮮内に於ける大規模の農業地帯である。山と山との間の狭くなり居る部分を堰き止めて周廻五里、八里もある様な大池を作りて天水を溜め置き、必要の時に際して夫れを導いて數千町歩或は萬有餘町歩の廣茫たる農耕地に灌漑して居る如き大掛りの水利事業が各所に施設せられて居ります。又朝鮮の西海岸は潮の干満の差が三十餘尺にも及ぶのでありますから、干瀉時には海岸より二里、三里の沖合までも干瀉になります。此の干瀉地を堰き切りて數百町歩、數千町歩もある廣き水田と化したる大千拓地も多數に存在して居ります。斯の如き大規模の遣り口は私



共は内地に於ては未だ見たことがありません。更に京城より北進せらるる途中黃海道の一部を御通過になります。車中よりは眼界の及ばぬ同道の南海岸地方にも前に申述べたるものに類似せる大水利事業が多數に散在して居ります。其の中にも殊に珍らしき延海水利の如きは、山地帯より流出する幾多の大小流が海岸にある處の湖に注入する、其の湖の大海に接觸する部分の狹隘なる所を堰き止め、潮の干満を利用して漸次に中の鹽水を眞水に取り換へ、其の水をデイズルエンジンによりて水路に導き夫れを山の手の方へ逆流せしめて灌漑に供して居る。其の灌漑に利用されたる水の一部は自然に溢流又は滲透して再び湖に流れ込むのである。其の還元した水が二度三度と反覆して上に導かれて灌漑用に供せられて居ります。斯様な事が幾度も繰り返されて居りますから湖中に溜り居る水は分折して見ますると若干は肥料分が

含有されて居るとの事であります。此の遣り方の可否に就ては色々の議論もあることと存じますが、兎に角内地に於ては未だ見聞した事のない、珍らしき目新らしき一の大施設であると申し得ると思ひます。

以上は單に朝鮮の水田經營に就き二三の例を紹介申上げたるに過ぎませぬが各所に斯様の施設は比々として存在して居り、今尙施設中に屬するものもあり、又施設に適する地域あれども未だ手の附けられて居らぬ所も澤山にあります。而かも朝鮮の農業は米作と云はず、其の大部の營農法は幼稚にして所謂原始的の域を脱せざるものが尙多いのであります。今日の處では米作の如きは反當内地の收穫量の半分位にしか達して居りませぬ、故に新に開墾又は水利灌漑の施設等を爲さずとも、地質、地味は内地と餘り劣つて居りませぬから營農方法の改善を行ふ丈けによりても、尙收穫を多量に増加し得るの見込がある。現

に内地米が朝鮮米に對して大なる脅威を感じて居るのも、成る程と首肯し得らるる點があると思ひます。其の他畑作に於ては棉、亞麻、大豆、小麥、粟等何れも地味に適し、就中棉作に至りては内地は申すに及ばず滿洲も容易に追隨を許さざる底の恵まれたる立場に在つて、現に二十餘萬町歩の作付反別を有して居り、本年以降十年間には三十五萬町歩の作付と四億數千萬斤の收量を、二十ヶ年後には作付五六十萬町歩收量七八億斤を目標として本年度より增收及面積擴張の獎勵に着手して居る處であります。尙朝鮮の風土と人情とは、牛、羊、豚等の飼育竝に養蠶にも適する特質を有して居り、現に内地に於て各位の眼に觸るる牛の最大多數は朝鮮系統のものであると御承知を願つて可然と考へます。其の他日本海沿岸地方の山林は内地の夫れに劣らざる立派な林相を有して居るのみならず、北鮮即ち鴨綠江及豆滿江の上流地

域には二百數十萬町歩の地積を有する千古斧を容れざる大處女林が存在し、而かも其の地域内には農耕適地三十餘萬町歩が尙未開墾の儘殘存されて居る。一昨年來着手して居る處の北鮮開拓は此の天然富源を開發すべき大事業であります。又各位御承知の如く朝鮮は三面海を以て繞らされ、其の深淺の度合も色々と變化あり、潮流の工合も宜しく、各種の魚族其の他の水産物が繁殖し聚集するに適して居り、其の漁獲高も多量にして現に内地に於て日々各位の食膳の上を賑はし居る肴や海苔の如きは恐らく朝鮮沿海のものが時に大部分を占めて居ると存じます。即ち農業、林業、水産業方面から眺めた朝鮮の輪廓は大要右に申述べました通にて現に相當の實力を發揮しつつあり、且つ將來尙大に伸び行くべき素質と運命とを有して居ると御承知を願つて差支ありません。

然らば工業及商業方面より見たる朝鮮の現在及將來は如何であるかと申せば、乍遺憾今日の處では大觀すれば兩者共に極めて幼稚であり、貧弱であると申上げねばなりません。將來は頗る有望にして洋々たる光明に充ちて居ると斯く申上げ得るのであります。現在でも纖維、製粉、護謨、精米等の事業は相當に發達して居ります。此等の外朝鮮否日本工業の一の誇りとし、又朝鮮工業の將來を卜する一の標準たるべきものがある。夫れは咸鏡南道興南の窒素肥料製造の工場であります。該工場は最新の技術と機械を集め、而かも大規模に施設せられて居るのである。年産四十餘萬噸とか申して居ります。彼の今春始めて會社が成立し今後滿鐵中心に施設するとか申す滿洲の肥料工場も、可なり大なるものを目標として居るかの様に承つて居りますが、今日の處では何と申しても興南工場は帝國內の最大且最新式の工場であると申し得

るのである。日本で最大最新のものであれば又東亞に於ける最大最新のものとして大に誇り得ると思ひます。却説各位御承知の通り空中窒素の固定には多量の電力を要します。其の電力を如何にして該工場に供給して居るかと申せば、鴨綠江の水を利用して發電致して居るのであります。同江は鮮滿國境地方の水を集めて大をなし西南流して黃海に注みて居る、其の上流にある赴戰江と申す支流を堰き止め周廻十餘里の大池を作り、其の水を長さ七里の墜道によりて南方日本海方面に導き、落差三千餘尺を利用して其處に十數萬キロワットの電力を作つて工場用に供しつつあるのであります。此の施設は動力専門大家の御話を承りましても世界に餘り類例のない大規模のものであるとの事である。又最近に於て赴戰江の隣りの長津江の流域を堰き止めて大電力を起し、夫れを安價に京城以北の要地に配給して工業の發展を圖らん

とする仕事が既に着手されて居る處であります。其の他十萬キロワット以上の電力が安價に作り得る水域は尙數ヶ所も存在し、現に内地に在る如き二萬や三萬キロワット位の水力發電の適地は各所に存在致して居ると申して宜しい、調査濟丈けの者二百數十萬キロワットと算せらる。而かも此等の電力は既定の統制方針に基きて施設せらるべき、内地に類例のなき特長を有して居る。此の水力電氣以外に火力による動力も石炭の豊富なる事によりて朝鮮に於ては極めて廉價に作り得るのであります。平安南北道の無煙炭は今や盛に掘り出して鮮内の使用以外に多量を内地に送り出して居る。尙江原道三陟にある無煙炭礦は未だ掘り出しては居りませぬが、炭質も良く礦量も豊富であり近く採掘せしむべく準備を進めて居る處であります。其の他鮮内各地に有煙、無煙の石炭礦は澤山ありますが殊に咸北の地下の大部には有煙炭が埋

藏されて居るのである。其の炭質は内地の磐城炭程度のものとか申しまして風化し易く餘り上等品ではありません。けれども採掘地の近傍で使用すれば十分に火力も出し得るとの事で、北鮮地方は此の石炭を利用して火力發電によりて廉價なる動力の供給が出来得るの狀態にあります。又此の石炭は液體化するに適當するとの事にて現に咸北明川郡に於ては、石炭液化の工場が出来上り既に製造を始めて居ります。

朝鮮は以上述べ來つた様に水力、火力の利用によりて安價の動力を供給し得るの便宜を有する外に、労働賃銀も内地の夫れに比すれば著しく低廉であります。安き動力、廉なる勞銀は工業繁榮の主要なる要素であります。朝鮮其者には確に、大規模に潤澤に此の要素が具備し準備されて居ると申して宜しい。然るに動力勞力以外に、原料の豊富であり、又夫れが容易に手に入ると言ふ事も工業發達の必要なる條



件であります。朝鮮は此の原料關係に於て果して如何なる立場にあるかと申せば農産、水産、牧畜、林業方面より求め得べき原料は前に屢々述べたるが如く、現在に於ても相當に潤澤に存在するのみならず、將來尙大に夫れを増加し得るの見込が十分にある。又鑛産方面の原料に就ても金の産出の頗る多き以外に、鐵鑛も豊富である。現に兼二浦の製鐵所は附近の鑛石のみによりて仕事を致し咸南利原、平南价川の鐵鑛等は掘出して鑛石の儘内地の八幡や室蘭の製鐵所に送られて居ります。又咸北茂山の鐵鑛は貧鑛の部類に屬するとは申すものの、滿洲鞍山の鐵鑛よりも品質も好く鑛量も多く、實に素晴らしきものの様である。最近視察を遂げられた東大の某工學博士の意見として、新聞紙上を通じて茂山鐵鑛は素晴らしきものである、之れさへあれば日本の鐵の自給自足は確實に出来る、鐵に關する心配は無用であると言ふ様な

意味合の事が傳へられて居り、當方専門家の所見と大體一致して居ります。其の他石棉、モリブデン、タングステン等内地に於て容易に求め得ざる鑛石も存在して居り、加之ならず見様によりては世の中は石器時代より、銅器時代、鐵器時代を経て今は鋼鐵時代であると申すべく、而して次に現出すべきは輕金屬時代ではないかと豫想せられます。而かも其の輕金屬の原料たるべき明礬石、マグネサイト、高嶺土等は豊富に鮮内に埋藏されて居り、現に全南の明礬石は愛媛縣の新居濱に送られ住友の手によりてアルミニウムの製造工業が成り立つて居る。殊に咸南端川郡のマグネサイト鑛の如きは、近時まで東洋第一と評され居りし滿洲大石橋附近の同鑛よりも品質も良く鑛量も多いとの事であります。斯く觀察して參りますならば朝鮮は農産、水産、畜産、林産等より生ずる原料以外に、工業用の原料としての鑛物をも地中に

豊富に保有して居るのであります。今後吉會鐵道が開通し其の支線の増設せられ、又平壤より滿浦鎮を経て海龍、吉林に通ずる鐵道連絡の成就したる曉には、吉林、黑龍江省方面の物資も多量に朝鮮に流れ込み、其の一部は原料の儘にて内地や海外に搬出されませうけれども、恐らく大部は一時朝鮮に止まりて安き動力、勞力によりて加工され、製品化されたる上、内地や海外に仕向けられ、一部は滿洲に逆輸入する事になり得る運命を有すると見て決して間違ひなしと信じて居ります。即ち朝鮮は低廉なる動力、勞力の供給と自己保有の原料以外に滿洲産の原料をも有利に使用し得るの地の利を占めて居りますから、工業的に將來大に發展し得るの可能性は十二分に備へて居ると確實に申上げ得るのであります。斯くして近き將來に日本海が極東繁榮の中心となる時代が到來し、目下築港工事中の咸北羅津港の如きは大連港と

竝立し、殊に日本對北滿の交通關係に於ては表玄關たるの時期の近き出現も決して架空の希望ではないと存じます。

之れを要するに朝鮮人は精神的には吾人の同胞とし伴侶として共存共榮、榮辱浮沈を共にし得る傾向に進みつつある。將又朝鮮全體は産業及經濟的には現在に於ても相當の實力を有して居り、更に將來は頗る有望にして大に發展すべき素質を具備し、單に農業國としてのみならず、工業國としても前途は光明に充ち且夫れに伴ひ商業も大進展を遂ぐべき運命に在りと申し得るのである。換言すれば朝鮮其の者は餘り遠からざる將來に於て、母國に厄介を掛け來りし舊態より脱却して、却て母國の進運に貢獻し、發展に寄與し得るの可能性を確かに十分に有して居ると斷言して憚らぬと信じます。唯だ朝鮮にて現在及近き將來に於て尙缺くる處のものがある。夫れは資本と技術の二點でありま

す。此の方面に於て今後一層内地の協力と支持を得さへすれば、前に申述べたるが如き結構なる時代の到來することも存外早いかと思はれます。此の點は内地の識者、有力者方に是非共十分なる考慮を煩はし奮發を願はねばならぬ處であります。

更に一端を御紹介申上げて日程の許す方々には親しく御視察を願ひましたならばと考へて居りますのは朝鮮に於ける精神作興、自力更生の運動であります。該運動は前に申述べました如く全鮮總動員にて努力中でありまして、恐らく内地に於ては容易に見る事の出來ない丈けの熱烈振りと組織振りを以て進行最中であります。詳言すれば各地方に於ては中央部の意圖を體して各種團體は素より村役場、學校、駐在所等を始めとして郵便局、金融組合、鐵道驛其の他當該地方の有力者等が己を空うして一致協力、一團となり、振つて該事業の徹底完成に

努力しある有様にて、實に此の涙ぐましき傾向に對して吾々は深く敬意を表し厚く感謝し且つは多大の期待を掛け居る次第であります。

尙教育界御歴々の御集りの席でありますから、一言朝鮮の教育に關して私の考へて居ります點を御耳に達して御話を終りたいと存じます。朝鮮に於ても教育の根幹たり指針たるものは申す迄もなく御勅語であります。只往昔より傳來せる人心の荒廢、生活の窮乏の域を今尙解脫し得ざる朝鮮の現状に在りては、何と申しても生活の安定を圖ることが急務であり、又夫れが諸般施設の前提であると思ひます。從つて初等中等の學校には職業科を設けて、之れに頗る力を入れて居る處である。單的に申せば教育即生活、生活即勤勞の意味合の基に努力せしめつつある處であります。其の結果として中等學校の新設につきましても特殊の原因の存せざる限りは、當分は實業的のもの以外は之れ

を許可せざる考へを以て進んで居る。即ち私の就任後今日迄は色々と地方の希望もありましたけれども、數箇の實業學校の外は設置を認可致して居りませぬ。將又教育當事者に對して機會ある毎に頭と口のみ働きて腹と腕のなき様な人物を造らざる様に、寧ろ頭と口は少々劣りても腹の据つた確つかりした、腕に働きある、薄篋でない、分の厚い、輪廓の大きな、ゆとりのある人を造り上げるべく反復努力方を要求し希望して居る處であります。尙朝鮮では現在の非常時局に處する方途として左の意味合を以て啓導に勉めさして居ります。今や帝國の一般社會は何となく非常時、國難の聲におびへて不安に驅られ焦燥煩悶に陥り、軍需關係の工業を除くの外は實業其の他一般に尙畏縮萎靡の狀態にある様に思はれる。然るに今日の非常時は單に帝國丈けてはない、世界共通である。世界各国共に經濟、思想兩方面に於て困り抜いて夫

れを打開し凌駕すべく藻がいて居るのである。其の中では日本は比較的困却の程度の軽い、何れかと申せば他の諸國よりも恵まれたる立場にあるのである。其の恵まれたる二三を例示すれば、無形方面に於て日本は國の中心が確乎として萬代不易不動である。御互が協力一致此の中心を確かりと捧持し之れに御縋りさへして居れば安泰である。他の諸邦の如く政局の波動によりて、國の中心が動搖し基礎がグラ付く様なものとは比較にならぬ仕合なる立場にある。

更に物質方面を見ましても帝國は著しく恵まれたる有利の状態に置かれて居る。國民の負擔は歐米諸大國に比すれば全般的に軽い。殊に各國の苦み居るは過去の戦債と賠償金であるにも拘らず、夫れの苦みは帝國には皆無である。將又資本主義には好き處もあれば芳ばしからざる點もあるが、日本に資本主義の入り込みたるは日尙淺き事なれば



其の餘弊たる貧富懸隔の差の如きも歐米の夫れに比すれば遙に尠ない。最近歐米を巡視して歸朝した人の話によれば、英本國(人口四千四百萬)丈けれども昨年來失業者三百萬もあり最近にても尙百萬を突破して居る。米國などは人口の三分の一は失業者にて華府、紐育の街頭にも袖乞の群が麇集して居るとの事である。夫れに比すれば帝國は頗る結構の立場に在る。即ち農業を基調とする食料の自給自足は完全に成立して居る、工業なども追々と歐米の足跡を離れて獨立獨歩し得るに至り、就中纖維工業の如きは歐米の壘を摩し之を凌駕するに至り彼等をして悲鳴を擧げしめつつあるのが今日の實狀であります。商業とても支那がポイコツトすれば更に南洋、印度、亞弗利加と轉々進出し商權を擴張して居る。其の他日本の人口は著しき高率を以て増加する。現に昨七年度の如きは百萬人を殖へて居る。何と申しても人口の増加

は國家興隆進展の基調を爲すものである。社會に於て人間の生活が困難となり、人類の神經が過敏となるに連れて人口は減少するとか承はつて居りますが、傳ふる處によれば佛國の人口は餘程以前より減少の途を辿り、英國は近時増加が止まらんとして居る様である。米國の如きは増加はして居るけれども夫れの大部は異民族の移住によりて成るのである。現に四千萬の人口を有する伊國の如きは、世界に雄飛する爲には近き將來に於て六千萬に達せしめねばならぬと當局は大に意氣込み色々之れに關する施設をなして居るとの事である。國家の興隆、國運の進展の基調を爲す處の人口増殖の點に於ても帝國は列強に比すれば極めて優越せる立場に置かれて居ると申し得るのであります。即ち各國全般に非常時、難局に當面せる中でも帝國は比較的に恵まれたる、前途に伸び行く餘地の多く存する境遇に置かれてある。何も悲觀

したり畏縮するの必要は毫頭ない。茲に吾人が此の如き有利の立場を自覺し認識して緊禪一番大に努力健闘しさへすれば列國に先んじて難關を突破し、危局を打開し、國運を進展せしめ、世界に雄飛する事が出來得るのであります。詳言すれば今日は消極退嬰によりて折角の天惠を空しくし逸してはならない處の非常時である。進取積極によりて遺憾なく天惠を把握し天與の仕合せなる立場をして大に意義あらしめ、國家の發展雄飛を圖らざるべからざる非常時である。斯る意味合、氣分を以て民衆を啓導すべく切々と要望しある處であります。而して朝鮮其の者は帝國內に於て又内地よりも色々と尙惠まれたる特長を有して居りますから夫れを仔細に指摘、教示して其の長所を十分に發揮して帝國の非常時打開の先驅となり、國難突破の前衛たるべき覺悟を以て邁往すべき様指導に勉めて居る處であります。

全然素人の私の事でありますから教育に關しては大雜把ながら此の程度の御話に止めて置きます。尙各位の大多數は續いて滿洲視察に御出掛に相成ると承りましたから、御視察上の何かの御參考にもと存じまして、聊か新開地たる朝鮮の近年に於ける産業發展の經路を御耳に容れて置きたいと考へます。即ち朝鮮が日本の經濟圈に入りたる當初、日本人が朝鮮に於て自由に各種の企業を爲し得る様になりました最初に置きましたは、實に素晴らしい好景氣、好評判であり、朝鮮に行きさへすれば寶がころがりて居る、朝鮮を見ぬものは世の中を語るの資格がないと申す如き形勢で、猫も杓子も視察に半島へ押掛けて参りました。斯の如き大評判の時代を御話の順序上假りに第一期と名付けます。其の後眞面目に企業家、専門家が段々と調査や研究を進めて見ますると、何だか評判程のものでもない、噂に上つて居るものを眞に物

にするのも中々容易の業でないとの聲が起りましたが夫れが第二期であります。斯の如き變遷の間にも投機者流及眞面目な企業家は夫々仕事に着手して居りましたが、中々以て多くは甘くは參りませぬ。中には失敗を重ね、事業の停顿するものも頻出するに至りまして、其處に第三期の叫びとしては朝鮮は詰まらぬ所である、母國に厄介のみを掛けるだけで何等の御役に立ち得ぬ所であるとの聲が起りましたのであります。斯様な不快なる聲の瀰漫して居る間にも孜孜として撓まず事業を繼續し、營々として倦まず研究や調査を續け居たる連中の働きに依りて次第に朝鮮の眞價値が発見せられ、朝鮮の有する實力が認識せられて、此處に始めて朝鮮の前途は有望である、馬鹿に出来ぬ資源が包藏されて諸事發展に結構なる要素が備はつて居るとの聲が第四期の叫びとして今や正に響き渡りつつある處であります。之れが丁度經濟

的に見たる現在の朝鮮の實狀であると思はれます。滿洲は今は第一期の好評時代であると思ひますが、極最近に至りまして時々各種専門家の口より存外滿洲は評判程のものではない、之れを物にすることは中々以て容易の業ではないとの聲の漏れるのを耳に致しますから、丁度朝鮮の産業發達の經路の第二期の入口に到達して居るのではないかとも思はれます。私は朝鮮の過去に於て經過したる第二期第三期の時代の如きは、寧ろ滿洲では省略されて第一期より直に第四期に入る様に成りたいもの、致したいものと乍蔭爲君國切に祈り居るものであります。

私の御話は之れで終りと致しますが、申述べたことはほんの大綱に過ぎませぬから、詳しい處は御手許に差出してある書類や専門家方面の話を御聞取りの上、正しき朝鮮の姿と動きと力とを御理解下さる様

御願ひ致して置きます。

長時間に亙り下手な長談議を我慢して御聞取下されました事を深く感謝致します。更に最後に各位が今後一路平安に視察を遂げらるることと併せて將來君國の爲層一層の御健闘あらんことを望みまして御別れに致します。